学校運営協議会議事録

校名	府立四條畷高等学校
校長名	稲葉　剛

開催日時	令和6年7月1日（月）15:30～17:00
開催場所	大会議室(東館2F)
出席者(委員)	田中保和会長　梅田和子委員　阪口葉子委員
	串田ゆか委員　鉄寿広委員　伊藤陽子委員
出席者(学校)	稲葉校長　森教頭　轟事務長　浦井首席　西教諭　中尾教諭 小松教諭　浅田教諭　村松教諭　中瀬教諭　新井教諭　金教諭 宮﨑教諭　中西勇教諭　藤板教諭　髙教諭　吉井教諭
傍聴者	
協議資料	2020～2024年度入試合格状況資料、 令和5年度/令和6年度　学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)

1　運営協議会委員紹介
2　学校長および事務局長紹介
3　会長選出
4　協議・報告
　（1）保護者からの意見書
　　意見書の提出なし
　（2）「令和5年度学校経営計画及び学校評価」ならびに「令和6年度学校経営計画及び学校評価」について
　（3）進路状況について
　（4）今年度の活動について
　（5）その他
5　その他
　・次回協議会予定について

協議内容・承認事項等（意見の概要）

・授業見学数が少ないが、授業アンケートの評価が高い。個々の教員が熱心に取り組んでいるのではないか。【委員】
→教員全体に授業を大切にしようという意識があると感じる。人の授業の良さを吸収できるよう見学週間を設定。【校長】
・浪人をする生徒は何人ほどいるのか。【委員】
→76期は61名、75期は64名、74期は74名ほど、2浪以上は少ない【教諭】
・挨拶に関する数値はどのように計っているのか。【委員】
→学校教育自己診断アンケートの肯定率から計測。新型コロナの影響で減少した模様。【校長】
→朝の校門での様子は以前通りであるが、廊下での挨拶は減少した印象。【教諭】
・便所の改修は進んでいるのか。【委員】
→大阪府の施策で、9割洋式化に向けて進行中。昨年は6台取替、現在男子トイレの小便器自動化を進めている。【事務長】
・他府県の学校の視察は生徒も行うものなのか。また、教員は何回ほど視察できそうか。【委員】
→教員が行うもので、予算の関係で多くは難しい。8月に筑波大学附属駒場高等学校から教員4名を招聘予定。【校長】
・業務効率化のために新たな取り組みは行っているのか。【委員】
→新たな取り組みはほとんど無く、定時退庁日や欠席連絡のフォーム化などを進めているが、残業時間が多い状況。【校長】
・志願者数は事前調査の段階で以前より減少していたのか。
→以前より減少していた。GL10校の総数は変わらず、層が大手前に流れた可能性がある。【校長】
・遅刻者数は他の学校と比べてどうなのか。【委員】
→進学校では少ないほうであるが、コロナ前は1000件に満たなかった。欠席や遅刻のハードルが下がった可能性あり。【校長】
・観点別評価の状況は？【委員】
→教科によってなじみ具合に差がある。1年生の段階からバランスを取って調整する必要があったと実感。【教諭】
・不登校の生徒数は？【委員】
→休みがちな生徒は各学年2～3名。組織的サポートを行っている。【校長】
・自主退学をする生徒はどれだけいるのか。【委員】
→留年は毎年1～2名ほどいるため、生徒のサインを見逃さず、しっかりとサポートを継続していく。【校長】

次回の会議日程

日時	令和6年　　11月予定
会場	大会議室